

センターNEWS



きらり

2017  
MAY  
NO. 8

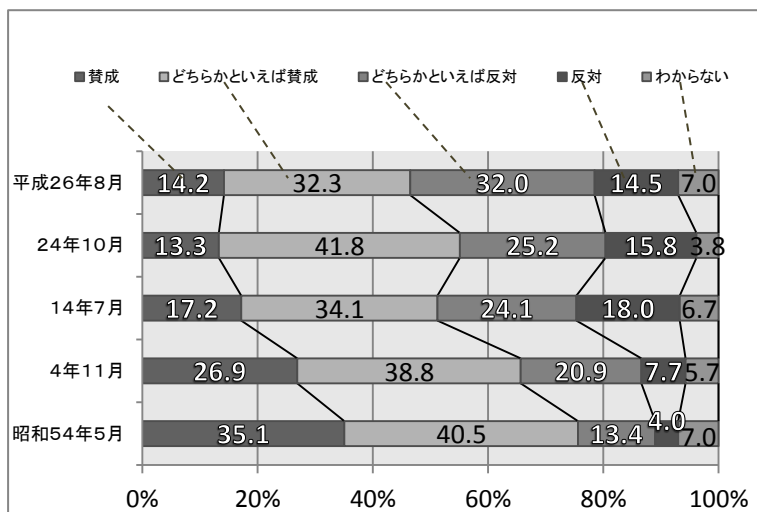
～多様な働き方・暮らし方～

男女共同参画の今…

平成28年4月に女性活躍推進法が施行され、平成29年1月には育児・介護休業法が改正されるなど、女性の活躍を後押しする法整備が進んできました。少子高齢化の進展に伴い、総人口、労働力人口が減少する中、日本社会の持続的発展には、女性の活躍が重要な鍵となっています。

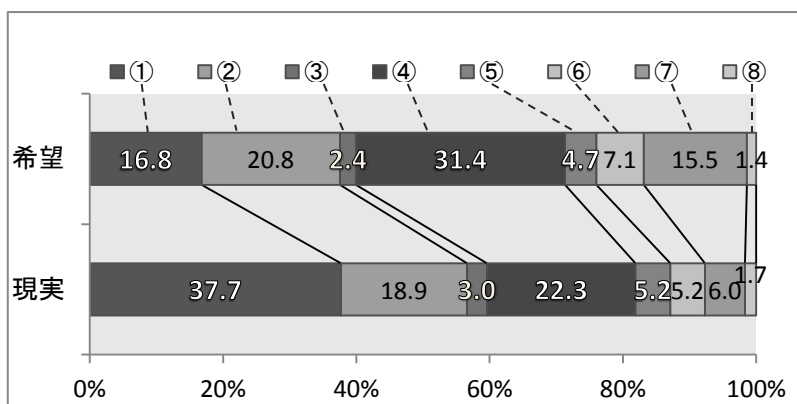
女性の活躍だけでなく、男女がともに暮らしやすい社会を実現するためには、まずは、長時間労働を当たり前とする男性中心型の働き方や、画一的な働き方の仕組みを変革することが急がれています。

◆「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に関する男性の意識の変化



出典：「平成28年版 男女共同参画白書（内閣府男女共同参画局）」

◆働き方・暮らし方に対する男性の希望と現実



- ①「仕事」を優先 ②「家庭生活」を優先 ③「地域・個人の生活」を優先
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先 ⑤「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑥「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 ⑦「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 ⑧わからない

出典：「平成28年版 男女共同参画白書（内閣府男女共同参画局）」

男性も生きづらい？

日本が大いに経済発展を遂げた高度経済成長期。「終身雇用」と「年功序列」をともに、男性は会社のために「企業戦士」として働くことが求められていました。「夫は外で働き、妻は家庭を守る」といった性別役割分担意識が、男女ともに「当然」でした。あれから40年以上が経ち、時代は大きく変わりました。男性の性別役割分担意識も変わってきましたが、仕事に、家庭に、社会環境の変化に、戸惑い悩んでいる男性も増加しています。

「男女がともに働き、家庭を持つなら家事や育児も一緒にする」という意識は、若い世代を中心に高まっています。しかし、実際には長時間労働を強いられ、男女ともにワーク・ライフ・バランスが取れていないのが現状です。また、男性中心型労働慣行にとらわれ、「自分が家族を養わなければならない」という考え方から抜け出せずにいる…これも男性の生きづらさにつながっています。今こそ、男性自身が従来の「男性としての役割」を考え直すことも必要ではないでしょうか？

## 多様な働き方・暮らし方の選択

単身世帯や母子父子世帯の増加、生涯未婚率の上昇などにより、家族のあり方が多様化する今、「夫婦」や「家族」のカタチは千差万別です。その中で、従来のように「仕事」か「家庭生活」のいずれかを選択するのではなく、「夫婦」や「家族」のカタチにとらわれずに、多様なライフコースを選択できることが必要です。これからは、インカム（収入）と子育てや介護などを、全部一人が担うのではなく、分担して行う「ハイブリッド型」をロールモデルとし、一人ひとりがそれぞれの事情に応じた多様な働き方や暮らし方を、自らの意思で選択することが求められているのです。

知っていますか？

### ダブルケア

初婚年齢や出産年齢が上昇し、育児世代の平均年齢が上昇する中、一人で育児と介護の2つのケアを同時に担う「ダブルケア」問題が、社会的関心を集めています。

### さんきゅうパパプロジェクト

配偶者の出産直後の男性の休暇取得を促進し、男性の家事・育児参画を促す取組としてスタートしました。「さんきゅう」にはパパが「産休」を取ることで、妻や産まれてきてくれた我が子に「ありがとう」を言おう！という意味が込められています。

## 男女共同参画週間事業 講演会

### 男女共同参画 世界はいま？日本はいま？

#### ～多様な働き方・暮らし方を考える～

世界各国の取り組みから、一人ひとりが多様な「働き方・暮らし方」を、自らの意思で選択することができる社会について、一緒に考えてみませんか？

日時：6月24日（土）10：30～12：30

講師：大西 祥世さん（立命館大学法学部教授）

会場：バンピオ1番館 6階 創作室1

定員：先着40人

申込：5月22日（月）9：00から

※託児（1歳～就学前幼児 先着6人）・手話通訳・

要約筆記の申込みは6月17日（土）まで



大西祥世さん（立命館大学法学部教授）

「男女共同参画週間」とは…内閣府では、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。すべての人が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指して、様々な取り組みを進めています。

平成29年度 内閣府 キャッチフレーズ  
男で〇、女で〇、  
にじゅうまる  
共同作業で 〇。

# ◆平成29年6月から男性のための電話相談を開設！

職場の人間関係、夫婦、パートナー、子どもとの関係、生き方や生きがいなどの悩みを、男性カウンセラーがお聴きします。

相談は無料、秘密は厳守します。まずは、お電話ください。



## 「男性電話相談」

毎月第4金曜日 19:00~21:00

075-963-5522

6月23日・7月28日・8月25日・9月22日・10月27日・11月24日・  
12月22日・平成30年1月26日・2月23日・3月23日

# ◆「女性の相談室」

予 約  
問 合 せ

075-963-5502

受付時間：9:00~17:00

月曜日~土曜日【祝日・年末年始除く】

### 専門相談

#### ★女性のカウンセリングルーム

第1・第4水曜日 13:30~16:30

第2・第3水曜日 9:30~12:30

お1人50分 予約制 原則1人10回迄

女性のカウンセラーが、あなたの悩みや気持ちを整理し、問題解決に向けて心理的サポートを行います。

#### ★女性の法律相談

第4水曜日 10:00~12:00

お1人30分 予約制(4・8・12月を除く)

1人1案件につき1回

女性弁護士が、DVや離婚、雇用、相続など、様々な法律上の問題におこたえします。

### 一般相談・DV相談

月曜日~金曜日 9:00~17:00

☆面接相談 予約制

※必要に応じて専門相談におつなぎします。

☆電話相談 **相談専用電話**

**075-963-5522**

男女共同参画アドバイザーが、夫婦関係、親子・家族関係、DVやセクハラ、就業や起業の相談など、女性にかかわる相談におこたえします。

## <相談事業の推移>

女性の相談室では、平成28年度から「一般相談」を「一般相談・DV相談」として、月~金曜日の常設相談窓口に拡充しました。

平成28年度の「一般相談・DV相談」は557件、昨年の213件から大幅に増加しています。

事業名	平成28年度 (内DV等)DV等割合	平成27年度 (内DV)DV割合
一般相談・DV相談 (面接・電話)	557件 (234) 42.0%	213件 (104) 48.8%
専門相談 (女性のカウンセリングルーム)	94件 (6) 6.4%	99件 (5) 5.1%
専門相談(女性の法律相談)	22件 (3) 13.6%	25件 (6) 24.0%
合計	673件 (243) 36.1%	337件 (115) 34.1%

相談内容で最も多かったのは、「夫婦関係」の277件、そのうちDV相談は153件と55.2%を占めており、次に「親子・家庭」124件、「生き方・ところ」77件、「仕事関係」74件、「暮らし」71件、「人間関係」40件、「その他」10件と続いています。DVや虐待だけでなく、家族間暴力や生活困窮といった複雑な事案が増加しており、「女性の相談室」への相談ニーズは、年々高まっています。

## ☆事業のお知らせ

### ◆女性のステップセミナー

私もOK! あなたもOK!

#### アサーティブトレーニングで

心地よい人間関係づくり (全2回)

##### ①自分の気持ちを大切にするコミュニケーション

日時: 7月4日(火) 10:30~12:30

##### ②お互いの気持ちを大切にするコミュニケーション

日時: 7月7日(金) 10:30~12:30

講師: 桑田道子さん

(女性ライフサイクル研究所 Felien 講師)

会場: バンビオ 1 番館 6 階 会議室 3

定員: 女性 先着 20 人

対象: 全2回出席できる人、

長岡京市在住・在勤・在学の人優先

申込: 6月1日(木) 9:00 から

託児: 1歳~就学前幼児 先着6人(要予約)

託児申込みは6月27日(火)まで

#### 少女たちは今

~JKビジネスを知っていますか?~ (仮題)

日時: 10月3日(火) 10:30~12:30

講師: 野澤征子さん

(NPO 法人キッズナわかば副理事長)

会場: バンビオ 1 番館 6 階 会議室 3

定員: 女性 先着 20 人

対象: 長岡京市在住・在勤・在学の人優先

託児: 1歳~就学前幼児 先着6人(要予約)

### ◆みんなの元気力UP 講座

#### LGBTを考える

~多様性を認めあう社会へ~ (仮題)

日時: 8月4日(金) 10:30~12:30

講師: 大森美千代さん(セクマイ相談員)

会場: バンビオ 1 番館 6 階 会議室 3

定員: 先着 20 人

(長岡京市在住・在勤・在学の人優先)

託児: 1歳~就学前幼児 先着6人(要予約)

#### 人生のエンディングを考えましょう(仮題)

日時: 10月24日(火) 10:30~12:30

講師: 金香百合さん

(HEAL ホリスティック教育実践研究所 所長)

会場: バンビオ 1 番館 6 階 会議室 3

定員: 先着 20 人

(長岡京市在住・在勤・在学の人優先)

託児: 1歳~就学前幼児 先着6人(要予約)

### ◆女性活躍推進事業

日時: 9月 開催予定

講師: 田中ゆかさん

(株式会社きりていー・ぶらんけっと 代表取締役)

※詳細は広報、またはHPで



## 男女共同参画作品募集 2017

### 「今の自分」を 描いてみよう!



どんな自分もかけがえのない大切な存在です。

ありのままの「今の自分」を描いた絵を募集します。



・募集内容: イラスト・漫画・抽象画・絵手紙など。  
画材は自由。A3 サイズまで。

・応募方法: 11月30日(木)までに  
持参もしくは郵送。

※応募作品は、2018年1月20日(土)開催の  
男女共同参画フォーラムで展示します。

### き☆ら☆り って?

すべての人が生き生きと暮らせるように、素敵に「き・ら・り」と輝けるように...そんな思いを込めました。みんなが元気になる「き・ら・り」としたヒントを、センターNEWSで発信します!

### 総括主査 馬淵 香代子

4月からこちらに配属になりました、馬淵(まぶち)と申します。

まだまだ悪戦苦闘の毎日ですが、日々の業務に追われるだけにならないよう、一日も早くみなさまに必要とされる人材になりたいと思います。

一人でも多くの方に『女性交流支援センター』という名前と場所とそして存在を知っていただけたら...と考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



### NEWメンバー紹介



### 男女共同参画アドバイザー 岩谷 美佐

こんにちは。岩谷です。4月から男女共同参画アドバイザーとなりました。

当センターは、すべての人が自分らしく生きられる社会づくりのために、熱意と闘志に燃えて取り組んでいます。私も、広い視野と柔らかく頭を心がけ、日々、従事しています。みなさまのご利用とご参加をお待ちしております。



## ☆こんな事業を行いました!!

◆あなたのチャレンジ応援プラン  
再就職応援セミナー 私が決める再スタート～何度でも、何歳になっても働きたいあなたを応援します!～  
12/10 (土)



中島三栄子さん  
(㈱ママココ代表取締役)



◆元気UP講座  
男女でサンカク!! 避難所づくり体験 ～誰もが安心して使える避難所とは～  
12/16 (金)



谷口睦子さん  
(らら京都 職員)

◆長岡京市男女共同参画フォーラム2016  
～自分らしく～あるがままに生きるために  
1/21 (土)



ムジクリ企画さんによるオープニングコンサート



家田荘子さん  
(作家 真言宗僧侶)



ホワイエにて展示

◆子育て支援講座  
ヨガでからだ・こころほぐしワーク ～あなたがあなた自身であるために～  
3/3 (金)



堂前洋美さん  
(社会福祉主事)



多くの方にご参加いただき、ありがとうございました!

## ☆情報コーナーの利用について

女性交流支援センターでは男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しができます。  
貸出：1人2冊まで、2週間（延長可） 対象：長岡京市在住・在勤・在学の人  
※図書の貸出しには「情報利用者カード」の登録が必要です。  
カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。



## ☆おすすめの図書

### 死後離婚

吉川美津子・芹沢健介・中村麻美 著  
洋泉社

姑との縁を切りたい、夫と同じ墓に入りたくない…など、夫が死んだ後に「離婚」を望む妻が増えている。夫の死後、その家族と絶縁し、元の姓に戻ることを「死後離婚」とよび、そのメリット・デメリットなどを解説。姻族関係終了届や昨今の離婚の状況、配偶者の死後の手続きやお金の話、お墓事情なども経験者の実例を踏まえ、詳しく説明している。巻末に手続き書類の紹介も。

### ママ、死にたいなら死んでもいいよ

娘のひと言から私の新しい人生が始まった  
岸田ひろ実 著  
致知出版社

著者には人生に大きな転機が3度あった。知的障害のある息子の出産、夫の突然の死、そして自身におとずれた、手術の後遺症による下半身麻痺。一生車椅子生活という現実にも、「もう頑張れない…」。絶望の中での娘のひと言、「ママ、死にたいなら死んでもいいよ」。3度の「もうだめだ」から立ち上がり、前向きな人生を歩む姿から、本当の強さを教えられる。

### この世界の片隅に（上・中・下巻）

こうの史代 著  
双葉社

ロングラン上映を続けている話題の映画「この世界の片隅に」の原作コミック。第二次世界大戦中の広島。漁村から呉に嫁いだ一人の女性、すずの日常風景を描く。物資が乏しい中で食事や服装の工夫など、当時の生活を、ユーモアも加えながら詳細に伝えている。「戦時中」とは特別な時間ではなく、日常の続きにあったということ、そして「戦争」はその日常から笑顔を奪うものだと、あらためて考えさせられる。

### 世界を変えた10人の女性

お茶の水女子大学特別講義

池上彰 著  
文春文庫

池上彰氏がお茶の水女子大学で行った講義録。池上氏が、自身が選んだ「世界を変えた女性10人」について、さまざまな角度から切り込んで解説。マーガレット・サッチャー、アウンサン・スーチー、キュリー夫人、マザー・テレサなど、その功績はもちろん、生い立ちや伝記では語られないような人となりまで、池上氏らしくわかりやすく解説。学生たちに課したレポートと、その評価も興味深い。

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター

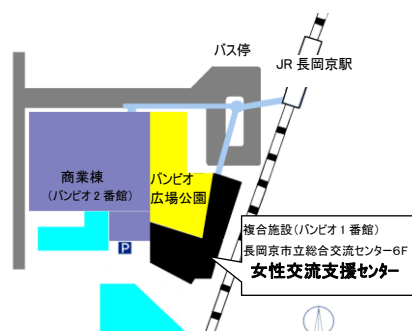
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp



アクセス  
JR京都線長岡京駅西  
口から徒歩1分

休館日  
日・祝日及び年末年始

開館時間  
月曜日から土曜日  
午前9時から午後5時

◇利用のご案内◇